

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

| | | | | | |
|------|----------------|-----|-------|---------------|---|
| 法人名 | 社会福祉法人やず | 代表者 | 竹内 由明 | 法人・事業所の 特徴 | 智頭産の杉をふんだんに使用した、落ち着いた環境の中で、利用者個々のペースに合わせた介護を行っている。材料にこだわった食事を提供し、季節の行事や外出レクリエーションなど、楽しみや喜びを感じてもらえるような取組みを行っている。 |
| 事業所名 | 介護老人施設 きたやま | 管理者 | 森田 仁 | | |

| | | | | | | | | | | |
|-----|-------|----------|-----------|-----|-------|------------|-------|-------|-----|-----|
| 出席者 | 市町村職員 | 知見を有するもの | 地域住民・地域団体 | 利用者 | 利用者家族 | 地域包括支援センター | 近隣事業所 | 事業所職員 | その他 | 合計 |
| | 2人 | 0人 | 2人 | 0人 | 2人 | 2人 | 0人 | 5人 | 0人 | 13人 |

| 項目 | 前回の改善計画 | 前回の改善計画に対する取組み・結果 | 意見 | 今回の改善計画 |
|-------------------------|--|---|--|---|
| A. 事業所自己評価の確認 | ケアプランが本人の意向や身体状態、生活歴などを加味した内容になるように、サービス担当者会議の実施方法を見直し、多職種や家族など多くの人が関われるものにする。 | サービス担当者会議の実施方法を見直し、福祉用具の事業所や家族の参加が増えた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・難しい目標ではなく、簡単な物の方が良いと思う。 ・緻密な計画を立ててあるが、達成できるか微妙。皆が参加しやすい計画を立てた方が良い | 利用者の「これまでの生活歴」「事業所が関わっていない時間の過ごし方」「～したい」を聞き取り、それに関わるケアプランの作成をする。 |
| B. 事業所のしつらえ・環境 | 事業所内でどういうことが行われているかが伝わり、誰もが事業所に足を運びやすくなるよう、チラシや広報誌を作成し、きたやまの中の事を発信していく。 | 多機能独自の広報誌を作成したり、法人の広報誌に多機能の宣伝記事を掲載した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の後にでも事業所内を見て回れたら、中の様子をもっとわかると思う。 ・現場に足を運ぶと、和やかな雰囲気が良いと思う。 | 家族や地域住民が足を運びやすいよう、展示会などの催しを開催する。 |
| C. 事業所と地域のかかわり | きたやま独自の広報誌を作成し、近隣住民に配布する。きたやま館内を作品などの展示場所とし、地域住民や保育所、小学校へその旨を伝える。 | 作品展を実施し、小学校や保育所の作品を展示した。展示期間中、地域住民の来所があり、好評であった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「多機能」ということについて、もっと宣伝した方が良い。 ・サロンなどに出向いて説明会などではどうか。 ・費用についての説明が必要。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の会合やサロンに出向き、小規模多機能きたやまの費用やサービスの中身などの説明をする。 ・多機能新聞を継続的に発行し、取組み内容を広く宣伝する。 |
| D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み | 利用者本人を取り巻く関係性を把握し、地元の行事や地域での役割、自宅での日課など失われたものに再びつながりが持てるような支援を行う。 | 利用者本人を取り巻く関係性の把握が十分ではなく、地域での役割や日課の継続や復活に結びつけることができなかった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・身近に気になる人が居ても、きたやまではなく社協や支援センターに相談することが多い。 | 地域の行事や清掃活動に、利用者とともに参加する。 |
| E. 運営推進会議を活かした取組み | 運営推進会議の内容を見直し、きたやまでの利用者の様子や変化が伝わるものにする。メンバーの選考や会の形態も検討し、様々な立場の人からの意見が聞ける会にする。 | メンバーの選考や会の形態は変更なかったものの、利用者の生活や新規利用者の受け入れ過程の報告など、内容を充実させた。 | きたやまで「こういうことに困っている」というようなことを発表してはどうか。 | 運営推進会議において、困難事例や利用者のエピソードなどの報告を行う。また、利用者以外の地域の高齢者に関する情報や相談があれば、会議の場で検討する。 |
| F. 事業所の防災・災害対策 | 風水害や地震などの災害に対する防災計画を早急に整備し、家族や運営推進会議へ発信する。町の担当者へ、災害時の対応やきたやまの果たす役割を確認し、明確にする。 | 防災計画は作成できたが、外部への発信はまだできていない。災害時にきたやまが果たす役割も、まだ明確になっていない。 | きたやまの建物自体は安全かもしれないが、周囲の山や谷は危険であることを把握しておいてほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・防災計画を閲覧可能な状態にし、それを周知する。 ・事業所の避難訓練を、運営推進会議のメンバーや地域住民が参加できるような内容にする。 |